

令和2年度 第1回 安曇野市まちづくり推進会議 会議概要

| | | |
|---|-----------|---|
| 1 | 会議名 | 令和2年度 第1回 安曇野市まちづくり推進会議 |
| 2 | 日 時 | 令和2年10月23日(金) 午後1時35分から午後3時10分まで |
| 3 | 会 場 | 豊科交流学習センター「きぼう」2階 多目的ホール |
| 4 | 出席者 | 田村会長、熊井副会長、大澤副会長、中楨委員、沼尾委員、磯野委員、羽重委員、川井委員 |
| 5 | 市側出席者 | 山田市民生活部長、高橋地域づくり課長、児玉地域づくり課長補佐、寺島まちづくり推進係主任、土屋地域おこし協力隊員 |
| 6 | 公開・非公開の別 | 公開 |
| 7 | 傍聴人 | 0人 記者 2人 |
| 8 | 会議概要作成年月日 | 令和2年10月30日 |

| 協 議 事 項 等 | |
|-----------|--|
| 1 | 会議の概要 委嘱書交付 (1) 開会 (2) あいさつ (3) 自己紹介 (4) 要綱改正について (5) 協議事項 ①「全市的な見守り、支え合い、助け合いの仕組みづくりについて」の進捗状況報告 ②「区の意義や重要性の理解促進」の取り組み状況について (6) その他 ①今後の予定について (7) 閉会 |

2 会議事項概要

新しく委員に就任する羽重暁雄氏に委嘱書を交付（山田部長より）

(1) 開会（熊井副会長）

(2) あいさつ

【会長】平成31年2月と令和2年2月にそれぞれまちづくり推進会議として提言書を出した。今日は提言を受けた各主体の取り組み状況について説明を受けた後、委員から意見や質問をいただきたい。

(3) 自己紹介（委員、事務局の順であいさつ）

(4) 要綱改正について

【事務局】安曇野市まちづくり推進会議設置要綱の改正について説明。

(5) 協議事項

①「全市的な見守り、支え合い、助け合いの仕組みづくりについて」の進捗状況報告

【事務局】全市的な見守り、支え合い、助け合いの仕組みづくりについて、各主体の取り組み状況を説明。

【会長】市区長会長、社会福祉協議会から補足説明はあるか。

【委員】市区長会長からは特にない。

【委員】社会福祉協議会が関連している取り組みが多い。例えば、ボランティア組織の立ち上げや、生活支援コーディネーターなど社協が中核となって取り組まなければならない内容。関係する組織が連携を取りながら進めていることを振り返ることが大切だ。

【会長】委員から提言や質問はあるか。

【委員】生活支援コーディネーターは何人くらいおり、どういった活動をしているか。

【委員】第1層の安曇野市全域は市の担当課が担い、第2層の旧5町村地域にはそれぞれ1名ずつの計5名が担当している。豊科地域はJAあづみくらしの助け合いネットワークあんしんが、穂高、三郷、堀金、明科の4地域は社会福祉協議会の各支所がそれぞれ担当している。地域の中で福祉に関係する事業所の代表や民生児童委員、区長らが集まり、1か月に1回か2か月に1回、協議の場を設けている。それぞれの地域で高齢者を支える仕組みを構築しようとしている。

【委員】生活支援コーディネーターは全市を対象に取り組むこととなっている。きめ細かな事業を進める上で各地域に1名では少ないと感じる。もっと人数を増やしたらどうか。

【委員】令和元年度から堀金地域の協議体では地区社協の会長が参加する形になった。協議会に区の福祉を推進する立場の人間が参加することで、区に取り組みを伝えやすくなる。5名のコーディネーターだけでは難しい面がある。4地域は社協が担っているが、福祉活動専門員の職員が担っている。

【委員】民生児童委員のアンケート結果は定量的な数字が出ているが、区や市に関する取り組みも定量的に進捗状況を示すことはできないか。今後の検討課題だと感じる。

【事務局】定量的にできるものできないものはあると思うが、いずれにしても進捗状況进行评估していただくことになる。評価ができる指標を出していければと感じている。

【会長】指標をつくる取り組みを進めてほしい。コロナ禍の中、産後うつが問題になっている。民生児童委員のアンケートで親子の見守り活動の実施は16%だが、しようとしてもできないのか必要がないのか。掘り下げた意見を聞きたい。

【事務局】実施していないという回答が非常に多い。そもそも対象者を把握していない面もあると感じるため、掘り下げて報告できるように考えたい。

【委員】福祉員になっているのは隣組長だが、1年で交代してしまう。活動への意識が高まったと同時に任期が終わってしまうこともある。災害が多発しており、隣組長の重要性はますます高まっている。さまざまな面で隣組長を支援していく必要があるのではないか。

【会長】毎年同様の悩みが上がる。市区長会として取り組んでいることなどはあるか。

【委員】まず、生活支援コーディネーターは豊科地域に1名いる。定期的に区長や社協の関係者など十数名が集まって議論するが、包括的な議論はあまり行われておらず、現在は

サロン等に出かけるための移動手段の確保について話し合っている。マイカーで送り迎えすることがテーマに上がっており、ボランティアで運転手になってくれる人がいるなどの調査をしている段階だ。市から生活支援コーディネーターにどういった要請が出ているのか分からない。支え合い見守り合いの態勢について、私が区長を務めている真々部区は隣組長が支え合いを担当することになっているが、実際にどの程度動いているか調査は行われていない。

【委員】民生児童委員に対するアンケートについて、問3の家族への支援や問4の子育て世代への支援の未実施は、評価が難しい課題だ。今は個人情報大切にしており、未実施は仕方ない面がある。単純に数字を見て良くないという判断はできないと感じる。

【会長】民生児童委員はそれぞれの持ち場があり、自身の持ち場で子どもがいない場合は実施していないと回答するだろう。もう少し深掘りしてほしい。

②「区の意義や重要性の理解促進」の取り組み状況について

【事務局】令和2年2月に市長へ提出した「まちづくり推進会議提言書」について、体系化できていないとの指摘があった。取り組みごとに整理した表を作成した。

【会長】説明をいただいた。市区長会長の中楨委員に補足説明をお願いしたい。

【委員】今問題となっているのは区を離れる人が多いことだ。役員を受けられないから区から離れる人もいる。若い人に役員を任せるという考え方もあるが、若者は働いている人が多くジレンマがある。市民の自主的自発的な活動が少ないことはどの区でも抱えている課題だ。区を挙げたイベントが見当たらない。

【会長】現状の悩みや課題を話していただいた。安曇野市では区が重要な位置付けだ。

【委員】表全体を見たときによく作ってあると感じた。書かれている内容が実際に実施されていたら素晴らしい。ただ、読みにくい見やすい工夫が必要だ。「区役員等の理解促進」にある情報共有・連携の部分で、先進的な取り組みなど情報を共有する場を設けるとあるが、協働に関する委員会でも協働の事例が良いことがあったら広く知らせようと話している。区でも良い事例があったら広げていくことが大事だと感じた。

【事務局】委員の指摘の通りで今後努めていきたい。今年で3年目になる土屋地域おこし協力隊員が市区長会の事務局を務めている。都会から来た視点で、各区の取り組みについて情報を発信している。引き続き活動していきたい。

【会長】土屋隊員から意見、感想をいただきたい。

【事務局】安曇野市に来て感じた特長は、区が地域で大きな存在だということ。高齢化で役員のなり手不足という課題は共通しているが、地域に関わりたい移住者もいる。もっと連携することで、それぞれの特色を生かした取り組みを進めていければ良い。

【会長】安曇野市は世帯数や新築住宅が増えていると聞いている。逆に高齢化によって区の役割を担えないという課題も生まれてきている。区は安曇野市の特長であり、情報共有を進めて強い区を作っていくしてほしい。

【委員】表の作成は大変だったと思う。前回の会議で体系化したらどうかと提案があったのは、体系化するための体系化ではなく、どういった取り組みが区の加入促進に効果があるか見極めるために必要だからという理由だったと理解している。この分類で見極められるかは分からない。見方を変えると、誰が見て便利な表なのか。

【会長】ウエイト付けや効果付けが入ってくればもっと良くなる。次回、その点が分かるような工夫をしてほしい。

【委員】高齢化に伴い区の脱会者が増えている。高齢化で役員の任務を果たせない。高齢化は年々進んでおり、年を追うごとに深刻な状態に陥る区が出てくるのではないかと危惧している。市区長会長に検討していただきたい案がある。高齢化で役員を務められない人に耕作放棄地で農作物を栽培してもらい、秋には収穫祭を開くなど輪を広げていけないだろうか。健康の維持には適度な運動と労働が大切で農作業は非常に良い。市区長会で実施できるか検討していただくとありがたい。

【会長】市区長会長はどうか。

【委員】熊井委員の提案が可能かどうか調査したい。

【委員】先ほど、この表は誰が見るためのものかという指摘があった。市区長会の会議の際、区長に渡したら大変良いと思う。ただ区長は高齢者が多いため、現在のままでは見にくい点が課題だ。

【委員】磯野委員と同感で立派にまとまっている。区長が見るときに自身の区でできている部分とできていない部分を確認することができ、2年間なりの区長の任期でメリハリを付けることができるだろう。さらに字を大きくすれば、より参考になる。

【会長】各区長がチェックできるような表を事務局で考えていただけたらと思う。ウエイト付けも含めた表作りを検討してほしい。

【事務局】この表は提言書に付属する形を想定してまとめた。せっかく作った表なので、より活用できるようにウエイト付けも含めて考えていきたい。

(6) 今後の予定

【事務局】区の意義と重要性についてのワーキンググループを来年1～2月に開く予定。第2回まちづくり推進会議を3月末ごろに開き、ワーキンググループの状況報告と本日の進捗状況の追加について話し合う。期日が決まり次第、日程を通知する。

(7) 閉会（大澤副会長）